



第9回 同窓会総会・懇親会

2023年(令和5年) 12月28日(木) 開催!

【時間】総会・懇親会 18:00～ 【会場】西条HAKUWAホテル

コロナ禍を乗り越え、 念願の同窓会開催決定

新型コロナウイルスの感染拡大により社会全体が大きな影響を受け、様々なイベントが中止を余儀なくされてきました。三年おきに開催してきた同窓会総会も例外ではなく、2022年は余波が収まらずに延期となりました。

そして今年、ついに念願の開催を予定しています。ここ数年は母校において、文化祭や体育祭といった多くの学校行事が中止・縮小になってきました。コロナ禍で学校生活を過ごした同窓生の中には、そのような楽しいイベントを経験出来ないまま卒業していった方々もいらっしゃいます。そういった皆さんが学校生活を思い出しながら、少しでも楽しめるような企画を用意してお待ちしております。是非お誘いあわせの上ご参加ください。

同窓会公式SNSにて
詳細を更新します!

お問い合わせはメールで
dousou@hh.kindai.ac.jp



Facebook



Instagram



前回(2019年12月28日)の同窓会

近畿大学附属広島高等学校 東広島校
令和元年度 総会・懇親会



名誉会長より

名誉会長(校長) | 橋本 晃一

同窓会員のみなさん、こんにちは。名誉会長(校長)の橋本です。

令和5年度は、中学校の新入生140名、高校285名の計425名を新たにお迎えし、学校全体としては、中学校433名、高校747名の計1180名でスタートしました。中学校は募集定員どおり、高校は定員より60名以上多く入学してくれました。そのため高校1年生は本校始まって以来の7クラス体制です。こうして本校がますます発展しているのも、みなさんが社会に出てからも本校を応援して下さいのおかげです。本当に有難うございます。

さて、私が校長に就任して4年が経ちました。5年目となる今年も“Aim for a Higher Level!”をモットーに、様々な改革を続けながら頑張っています。

今年はコロナも感染症5類となり、学校生活も以前の活気を取り戻しつつあります。近校祭・体育祭(テーマ:DICE～頭脳をかけて～)では中高を赤青の2団に分けて競い合い、大いに盛り上がりました。またクラス別のオリジナルTシャツを作って、クラスマッチや球技大会を実施しました。2学期には近校祭・文化祭を行います。文化部の発表、模擬店やステージとともにPTAや同窓会、OBの方々にもバザーや模擬店にご協力いただきます。

クラブ活動でも多くの実績をあげています。陸上競技部、剣道部、文芸部、自然科学部

そしてダンス部などなど、県大会、中国大会、全国大会、そして世界へと活躍を続ける本校の部活動に、ご声援を宜しくお願いします。

さらに今年の新たなトピックとしては、制服のネクタイ・リボンにオプション・カラー(合計6色!)を導入しました!次年度はどんな新しいアイデアが生まれてくるか、お楽しみに!また教員の部署に「探究教育推進室」を発足させ、SDGsなど多様な問題解決に取り組む生徒への支援にICTを駆使しながら積極的に行っています。

さて、日ごろから同窓会長様をはじめ、同窓会員のみなさんには本当にたくさんのご支援をいただき、たいへん感謝しています。今後もみなさんが、本校の卒業生として誇りを持ってもらえるように、活気ある楽しい学校づくりを目指していきます。

同窓会員のみなさん、機会があればぜひ遠慮なく本校に足を運び、母校の発展していく姿を見てください。そして今後とも「近大東広島」を、どうぞよろしくお願いたします。



同窓会会長より

同窓会会長
西廻 知史
5期生(H15卒)



同窓会会長の西廻知史です。日頃は、本同窓会の運営に深くご理解、ご協力のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

同窓会会員は令和5年3月に新たに222人の同窓生を迎え、現在では5037人となり、日本各地や世界でも活躍しております。

昨年末に同窓会総会懇親会を開催する予定にしておりましたが、新型コロナウイルス感染拡大により、中止したことを深くお詫び申し上げます。

コロナ禍を経験して、改めて痛切に感じたことは『テクノロジーの進歩』です。現代人が一日で受ける情報量を平安時代の人に換算すると、なんと一生分の情報量となるそうです。それほどの量を携帯端末から得ることが出来ます。

また、現在におけるコミュニケーションの最前線はFace To Faceではなくスマートフォンを利用したものになっています。私の時代のコミュニケーションで大事なことと言えば、まずはしっかりと相手の目を見て話を聴き、そこから話をする際にはトークの引き出しの多さと回転、切り返し、そして何より相手との間の取り方でした。そういったことが重要な時代でした。

さらに先日、私事の話になりますが、観たいスポーツ番組を見逃してしまい、つい家族に「あっ。今日のスポーツ番組を観るのを忘れてた!」と言うと年長の息子が「お父さん、TVer(ティーバー)で観ればいいじゃん」と平気で言い、その横で小学生の娘はスマホの画面にフリック入力している時代です。

自分が幼い頃の我が家は、VHSを再生する機械しかなく(録画機能がない)、テレビはリアルタイムで観る方法しかありませんでした。携帯電話はおるか、ポケベルも存在しなかった時代に、現在の様子は全く想像も出来ませんでした。

では、これから数十年後にはどのような社会になっていると思いますか。今の自分が思っているものよりも遥か先に『テクノロジー』は超えていくのでしょうか。

そんな想像もつかないような未来が来るとしても、私は目の前の色々な出来事を『楽しみ』ながら生きていこうと考えています。そして、楽しいと思えるコツは『感謝』だと思っています。『感謝』というのは自分が今当たり前前に日常生活を送れていることだと思います。当たり前の日々に感謝し、まだ見ぬ未来を楽しもうとする気持ちが、次にやってくる新しいテクノロジーに対応していくバイタリティになるのではないのでしょうか。

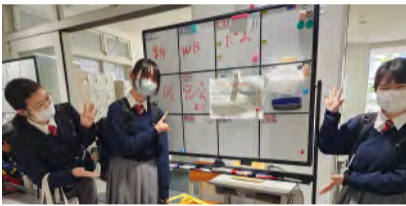
本同窓会においては、未来の後輩や色々な世代の方とのコミュニケーションを通じて価値観の違いを認識し、新しい考え方を取り入れたいと考えております。そのようにして同窓会での活動も楽しみながら、より良い同窓会を創り、卒業生同士の輪を広げて発展させていくことを目指しています。

最後に、年末には同窓会総会・懇親会の開催を予定していますので、是非とも皆様方の参加を心よりお待ちしております。

在校生支援（報告）

| クラブ用ホワイトボード

令和5年5月中旬、同窓会よりクラブ用のホワイトボードを寄贈しました。今まで長年大切に使用していたホワイトボードですが、新しいものにリニューアルする運びとなりました。これでクラブ内の連絡が行いやすくなったのではないでしょうか。これからも同窓会で頑張る部活生を応援していきましょう！



| 棒高跳ポール

令和5年7月中旬、北海道インターハイに出場する高校陸上競技部に棒高跳のポールを同窓会から寄贈しました。歴代インターハイにも多く選手を送り出している棒高チーム。竹内先生のもと、めきめきと力をつけています。このポールを使って全国大会で活躍していただき、その後もどんどん記録を伸ばして欲しいと思います。



| 全国大会に出場する在校生へ

令和5年度全国大会に出場する「自然科学部」「文芸部」「ダンス部」「陸上競技部」に激励金を贈呈しました。日頃の練習の成果をしっかりと発揮して、満足のいくパフォーマンスができるように同窓会は支援を続けていきたいと思ひます。



教育実習を終えて

<写真左から1人目>
教育実習生 | 松浦 麗 22期生 (R2卒)

実地授業において、指導教諭に学習指導案の書き方から授業展開案、教材の使い方まで懇切丁寧にご指導いただきました。

実習初期では指導案通りに授業を進めなければならないと心に余裕がなく、演習の様子から生徒の理解があまり十分ではないと感じました。

しかし、「ノリノリで生徒を引き込もう」と助言を頂き、生徒の理解に合わせた

授業進度や自分なりの声のかけ方を行うことで、生徒は問題に食いつくようになり、質問も多くなりました。質問後には「わかった」「なるほど」の声を多く頂きました。

指導教諭をはじめ、教職員の皆様、並びに生徒のみなさんのおかげでとても楽しく実習期間を過ごすことができました。誠にありがとうございました。

卒業生より



岡邊 美佑
25期生 (R5卒)

こんにちは。私は岡邊美佑と申します。25期生です。

現在は広島大学の教育学部で学生生活を送っています。新型コロナウイルスの影響が徐々に弱まり、今では対面授業も通常通り行うことができるようになりました。サークル活動や部活動も充実しており、大学生活を楽しんでいます。現時点では一般教養の授業が主なので、専門的な授業は

まだまだありませんが、大学1年のうちに一般教養科目をしっかりと履修し、2年からの専門科目に備えていきたいと考えています。

私たち25期生は、新型コロナウイルスの影響が未だに残る中でも、先生方や保護者の方々、在校生の皆さんのおかげで様々な行事を経験することができました。以前とは異なる形での経験でしたが、多くの人々の協力によって充実した高校生活を送ることができたと感謝しています。

周囲の方々への感謝の気持ちを忘れず、これからの生活でも高校生活で学んだことを活かしつつ、素晴らしい日々を送るよう頑張っていきたいと思ひます。

卒業生の近況

| 行動あるのみ！

鍋島 勢理 12期生 (H22卒)

今年の春から東広島市で議会議員として活動させていただいております。約3年前Uターンして県庁で広報の仕事をした後、地域を元気にするためこの道を決意しました。

振り返ると高校での経験がその後の人生に大きな影響を及ぼしています。一年生で参加したオーストラリアでのホームステイ研修では、英語が思うように話せなかった悔しい経験が、その後の渡英に繋がりました。

留学時に思ったのは、政治が身近なことでした。カフェテリアで当たり前のように政治を議論する姿にカルチャーショックを

受けました。

今は自分の仕事を通して小学生から大学生まで少しでも政治やまちづくりに関心を持ってもらえたらという思いでいます。世界は広く無限大です。挑戦したいことに真っ直ぐ向き合っていけるよう、可能性に溢れる後輩の皆さんをしっかりと応援できる人になりたいです。



| 人生のターニングポイント

河原 一仁 8期生 (H18卒)

こんにちは。8期生の河原一仁と申します。現在は、広島市にある朝日医療専門学校広島校という学校（医療系の国家資格である柔道整復師、鍼灸師を育成する学校）で教員をしながら、マツダスカイアクティブズ広島というリーグワン所属のラグビーチームでトレーナーをしております。

私がこの世界に進むきっかけは高校時代のスポーツでの大怪我でした。手術とリハビリで高校在学中の半分くらいは運動できず辛い時期でした。そんな経験から近校を卒業後、鹿屋体育大学へ進学しトレーナーの勉強を始め、柔道整復師やJSPO-ATなど

の資格などを取得しながらスポーツ選手などの怪我に困っている人のサポートをさせていただいています。先日近校の陸上部でセミナーさせていただきました。

当時は辛すぎた怪我のアクシデントは、今となっては私の人生の素晴らしいターニングポイントとなっています。その時を過ごした近校での楽しかった学生生活を懐かしむと共に、母校に少しでも貢献できたらと思っております。



| コーヒー屋を開業しました

内海 良介 5期生 (H15卒)

2023年4月、脱サラして東広島市高屋町に「もみじコーヒー」を開業しました。母校が見えるぐらい近所なので、ぜひ遊びに来てください。コーヒー豆の販売がメインですが、テイクアウトもあります。常時10種類ぐらいの試飲を置いているので、とりあえず楽しんでもらえる店になっていると思ひています。

会社員だった頃や、国立学校の職員だった頃とは生活のリズムは変わったのですが、

娘たちと過ごす時間を増やせて、好きなことを仕事にして、日々を楽しんでいます。

この調子で、5年後も、10年後も、日々が相変わらず楽しいと言ってもらえるように、全力で過ごしていきたいところです。全力に疲れたら、コーヒーでも飲んで一休みすることも、また楽しそうです。

